

EGRRS（原子力バックエンドにおける遠隔・ロボットシステムの適用に関する専門家グループ）について

1. EGRRS の概要

件名：EGRRS (Expert Group on the Application of Robotic and Remote Systems in the Nuclear Back-end)

議長：S. Rustam (バーミンガム大教授, 英国) ※英国立原子力ロボティクスセンターの創設者

参加国：EC, 英国, フランス, ベルギー, ロシア※, ドイツ, スウェーデン, フィンランド, ノルウェー, スペイン, スロバキア, カナダ, 米国, 韓国, 日本

※ 上記は分かっている範囲。現在ロシアは参加停止中。

※ 地層処分実施主体からの参加は SKB と NUMO。日本からは他に、福島高専（JAEA 福島研究開発部門？）が参加。廃炉の関係者には民間の開発者も参加。

※ NUMO は 2020 年 11 月から正式参加。

活動目的：放射性廃棄物管理および廃止措置に関する国家プログラムの最適化の方法として、ロボットおよびリモートシステムの適用を通じた加盟国の開発を支援する。

活動期間：第 1 期：2019 年 11 月～2021 年 11 月、第 2 期：2021 年 12 月～2023 年 12 月

2. 活動状況

- ・ 2019 年 12 月 9-10 日にキックオフミーティングを開催。
- ・ 「現状の技術の状況および用語の使用/定義」, 「障壁/障害」, 「費用便益分析」の Ad-hoc group を設置して活動。
- ・ 2020 年 10 月に RRS の適用における障壁/障害のアンケートを実施
- ・ 2020 年 12 月 7 日：第 1 回全体会合（Web 開催）
- ・ 2021 年 6 月 10 日 EGRRS 活動報告書の状況と展望に関する会議
2021 年は EGRRS レポート（ドラフト）を作成し、RWMC のレビューを受けた。NUMO も協力。
- ・ 2021 年 12 月 7-8 日：第 2 回全体会合（Web 開催）
第一期（EGRRS-1）の総括、第二期（EGRRS-2）の活動計画を議論
第 2 期では「RRS Benchmarking」, 「Cost-Benefit-Analysis」, 「Regulatory Issues」の Ad-hoc group を設置
- ・ 2022 年 5 月 19 日：OECD/NEA EGRRS Ad-hoc group meeting（Web 開催）
①アクティブメンバーになる、②アクティブなメンバーではないが常に情報を入手する、③興味がない、のいずれかを選択。NUMO は②の形で 3 つのグループに登録。
- ・ 2022 年 12 月 7-9 日：第 3 回全体会合（対面）予定

以上